

事業所における自己評価結果(公表)

公表日 2022年3月28日 討議日 2022年3月14日 事業所名 オトナリ(児童発達支援・放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4			・現状の空間を有効に活用できるよう、改善を目指す。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	4			・今後、利用者が利用しやすい環境の工夫を目指す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	3		・子ども達の活動に合わせた…大人の都合であることが多く、クッキング活動の場面作りも適切かと思うときがある。 ・子どもにとって活発な遊び、ゆっくりした遊びが重なる、スペース確保が難しいときがある。 ・特にコロナ禍での消毒は有効だと思います。	・衛生面に配慮して清掃、整理整頓等を行っていく。 ・子どもの活動が制限されないような空間づくりをする。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1			・職員からの業務改善の意見を拾えていないため、意見を言いやすい環境作りと意見を聞く機会を増やす。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				・事業所評価と毎日の職員間の情報共有で、業務改善の内容を検討するようにする。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				・事業所評価の結果については、ホームページ上での公開とし、希望されるご家族には書面での公開をする。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2		・第三者評価としては実施していないが、第三者委員との連携を図り、今後は第三者としての地域の住民の参画の仕方も検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				・職員全員が参加できる研修の内容の充実に努める。 ・外部の研修への参加も要望に応じて検討する。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	1			・職員全体でアセスメント(行動観察)を行っている。職員のスキルアップをして、全員が積極的に参画できるようにする。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	1	・「使用」はしてはず、「応用」はしている。	・標準化されたアセスメントは内部では実施していない。今後必要性を検討する。

適切な支援の提供	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」及び放課後等デイサービスガイドラインの「基本活動」から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			・児童発達支援ガイドライン、放課後等デイサービスガイドラインは、職員がいつでも確認できるようにし、周知していく。
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5	1		・個別支援計画を適時見直すよう努める。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	・土曜日活動の話し合いをするとき、職員同士で意見を出し合えるのが良いと思います。	・活動プログラムの立案を全職員参加でできるよう方法を検討する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		・活動プログラムの立案を全職員参加でできるよう方法を検討する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	5	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	・「児童発達支援」はそうではないと感じる。担当者間ではあるのかもしれないが、中・長期的目線で考えられているかわからない。 ・振り返り時は子どもの対応について確認できる。	・児童発達支援、放課後等デイサービスともに全職員が関わり意見が出し合えるようにする。 ・支援前に内容や役割分担を確認できる時間を確保する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・振り返り時、他の職員が子どもにどう対応したか聞けるので勉強になります。 ・翌日の振り返りでできている。	・支援の振り返りは翌日全職員参加で行っており、参加できなかった職員は記録を参照するようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・記録に時間がかかりすぎないように、記録の仕方を検討する。
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・原則6か月ごとの更新としているが、計画の更新は計画的にできるようにする。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・職種にこだわらず、利用者の状況を熟知している職員の出席も検討する。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		・どのような連携が必要か検討する。	
23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1			
24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	・必要な利用者がいたらするのではないかな。	・現在のところ、実績はないが、状況に応じて相互理解を図っていく。	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1		・必要な利用者がいたらするのではないかな。	・現在のところ、実績はないが、状況に応じて相互理解を図っていく。
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1			・就学前の状況については、必要に応じて情報収集に努める。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	1	・必要な利用者がいたらするのではないかな。 ・該当利用者がいない。	・移行支援の実績はない。今後、必要な場合に検討する。
	28	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		2	・サービス部会や研修が開催されていない。	・今年度は、研修の機会自体の開催が少なく、リモートで行われた。参加できなかった職員には資料の閲覧をお願いしている。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブ、児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	・他の事業所との交流は行った。	・利用者は普段幼稚園・保育園や小学校で交流する機会があるので、計画していない。
	30	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	2	・コロナのためできていない。	・今年度は、部会等の会議の開催自体が延期やリモートになり、充実した研修内容が難しかった。子ども部会には積極的に参加し、情報を提供していく。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				・保護者お迎え時、当日の様子を分かりやすく伝えるよう努める。
保護者	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	・「サポートブック」を一緒に作成した。	・ペアレントトレーニングの提供はしていないが、適宜相談支援を継続していく。研修の機会として今後検討する。
	33	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				・職員には内容を把握してもらうよう、説明に努める。
	34	個別支援計画の内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか	6				
	35	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・連絡ノートでの相談に対しコメントを返している。	・保護者や子どもの様子を良く見守り、相談の申し出に対する対応はもちろん、職員からも積極的に声をかけていく。
	36	父母の会の活動支援や、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	1	・増やせる社会に戻れば増やしていいと考えている。	・感染症対策をしながらの実施が可能か、必要性和併せて検討していく。

者への説明責任等	37	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	38	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・オトナリタヨリで長期休みのスケジュールを載せたり、土曜活動のプリントで発信できていると思います。	・会報の発行については、個人情報に配慮しながら内容の充実を図る。
	39	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				・支援提供時間中の保護者面談には、プライバシー保護に配慮する。
	40	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4		・今後移転するとできると考える。	・今後必要性を検討していく。
非常時等の対応	42	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6				・今後も内容の周知を図りながら、職員間で検討する時間を取ることに努める。
	43	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				・今後も内容の必要性の周知を図りながら、職員間で検討する時間を取ることに努める。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	2			・服薬開始や終了、服薬量の増減の確認を適時間き取る。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・危険な状況に遭遇したとき、レポート作成+振り返りで発表なので、気を付けなければいけない状況を確認できます。	・アクシデント・インシデントレポートの積極的な提出を浸透させていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				・虐待防止研修は年間計画にて実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	1	3	2	・今後検討、決定していく。	・身体拘束を行うべき利用者はいないが、今後検討する場合は、十分に話し合い説明と同意を得て行うようにする。 ・そもそも拘束を要する場面がない。